

第1号議案 平成30年事業報告

平成30年1月1日から同12月31日まで

特定非営利活動法人 石川県ウオーキング協会

1. 事業の成果

- ◆ 第15回加賀百万石ツデーウオークは記念大会として開催、「記念コース」と「しあわせ発見コース」の2つの特別コースを加えた。二日間の延べ参加者数は3,384人と5年連続で3,000人の大台を超えた。また、実人数（登録者数）は、過去最高だった14回大会には及ばなかったものの、それに次ぐ2,490人を数えた（詳細は別紙の大会事業報告書を参照）
- ◆ 月例会は毎月1回の計12回開催し、延べ1,017人の参加があった。（前年比－78人）。平均すると1回当たり84.7人となり、前年より6.6人の減となった（29年91.3人、28年89.5人、27年95.3人）。このうち会員の参加者数は延べ773人で、1回当たりの平均では64.4人だった
- ◆ 例会の開催場所は金沢市6回のほか加賀市2回、小松市、羽咋市と県外では福井県勝山市、富山市で開催した。このうち3月は「かがウオーキングクラブ歩歩」と、7月、8月は小松ウオーキング協会と合同で実施した
- ◆ 特別例会として加賀百万石ツデーウオークプレ大会（4月）のほか、小松にオープンしたウオーキングステーションの開設記念ウオーク（8月）と金沢市の友好交流都市である東京都板橋区のウオーキング大会参加のバスツアーを実施した
- ◆ 共催・協力事業としては鶴寿園ウオーク（4月）、内灘ロマンチックウオーク（5月）ピンクリボンメッセージウオーク（9月）金沢ウオーク、千寿閣ウオーク（10月）に参画したほか、初めて、石川県文化振興課からの協力要請を受けて「アートめぐりウオーク」にスタッフ8人を派遣した。また、能美市での協会設立を後押しするために能美市ふるさと振興公社が企画した「能美スマートウオーク」を後援し、県協会からも参加した
- ◆ 歩育推進事業は石川県・金沢市の補助金を受け、前年と同様、3つの歩育楽校を開催（10月、11月）したほか、園児の冬場の歩行・身体運動の活性化を図る「歩育チャレンジカード」を作成して県内の保育園、幼稚園に配布した。このほか、三世代手つなぎウオーク（5月）、加賀百万石ツデーウオーク（6月）でも歩育コースを実施した
- ◆ 7月、小松市のスポーツオーソリティ新小松店（イオンモール新小松内）に県内で唯一のウオーキングステーションを開設した。金沢駅前のステーションが廃止になって2年ぶりに歩行記録が認定されるイヤラウンドコースを復活させることができた。8月には小松ウオーキング協会と合同でステーション開設記念ウオークを実施した

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

【県内のウォーキング大会の主催および協力】

詳細は別表

【県内のウォーキングの普及および研究】

- ◇ 小松市でのウォーキングステーション開設に向けて小松ウォーキング協会とともに関係方面に働きかけ、イオンモール新小松店とスポーツオーソリティの協力を得て1年がかりで開設にこぎつけた（7月）
- ◇ 石川県のスポレク協賛行事として実施した6月例会で初心者向けのウォーキング教室を開催、歩幅の計測や認知症予防の歩き方などを指導した＝指導委員会

【ウォーキング実践団体の育成】

- ◇ 加賀百万石ツデーウォークおよび月例会を通じて地域協会と連携を深めた
- ◇ 能美市での協会設立を前年に引き続いて働き掛け、能美市ふるさと振興公社が今年度企画した「能美スマートウォーク」を後援した

【機関誌や刊行物の発行】

- ◇ 会報「IWA ウォーキングだより」を偶数月に年6回発行した。2月号からはカラー化した＝広報委員会
- ◇ IWA ホームページで情報発信（年間アクセス数123,554ページ、1日平均353.0ページを記録）＝広報委員会
- ◇ 加賀百万石ツデーウォークをフェイスブックで情報発信＝広報委員会
- ◇ 歩育チャレンジカードを作成し、県内の保育園・幼稚園に配布

(2) その他の事業

【ウォーキング関連需品販売事業】

- ◇ ウォーキング用品（傘、ジャンパー、15周年記念帽子、マップケース）を販売

(3) 会議等

別表参照

※【 】は定款で定めた事業名